

# ❁ 議会だより

## 第31号

### 木津川市議会



本会議	2～4	議員定数特別委員会	12
議員定数22人を可決		市民アンケート集計結果	13
請願・意見書	5	3月定例会予定表	13
採決結果	6	<b>20人が一般質問</b>	14～23
補正予算特別委員会	7	組合議会報告	24
常任委員会	8～10	市民と議会のつどい報告	25
クリーンセンター建設特別委員会	11	わたしの意見	26

**社会に貢献を誓う**  
**(26年度成人式)**

# 議員定数22人に

12月定例会は、11月28日から12月18日までの21日間の会期で開催した。  
議案21件・同意2件・承認1件・請願2件・議員発議2件を審議し、請願1件を除き、同意・認定・可決・採択した。

## 議員定数削減で 活発な議論

9月議会に議員提案された議員定数を24人から22人にする議案を、継続審査を経て審議した。  
（委員会の報告は、12ページを参照）  
委員長報告の後、合意形成を目指し、本会議での初の自由討議を行った。

### 自由討議の主な意見

- なぜ今の時期なのか。
- 議員自らが身を切る改革が必要。
- 住民アンケートの結果を尊重する。
- 若者が選挙に出られるよう報酬も見直すべき。
- 議員の質を高めること

が使命である。  
○22人の根拠が説明されていない。

- 行財政改革の観点。
- むやみやたらに削減は賛成ではないが、7万人で24人は多い。
- 近隣を参考に削減可能。
- 削減をもっと続けるべきだ。

○合併後、議員数は半減した。市民から遠い存在になったことで投票率も低下した。減らすべきでない。

○議員定数を長く議論するより、住民福祉の向上に向けた議論が重要。

### 反対討論

合併して議員数が減り、投票率が下がった。身近に議員がいなくなったためだ。人口が増えている市なのに、議員数を削減

するのは納得できない。

曾我千代子

議員2人が減れば二元代表制の効果が失われる。人口が類似した他市のまねするのは市議会の地方分権、地域主権の考えの喪失である。

深山 國男

### 賛成討論

チェック機能が低下するとの声がある。

しかし、アンケートは80%が賛成。これを真摯に受けて、住民の負託に応えていくべきである。

高味 孝之

賛成多数で可決  
（賛成18人・反対5人）

## 自由討議とは

- Q 自由討議とは。  
A 議会基本条例で「議会は討議の場であり、議員間での議論を尽くして合意形成に努めること」と位置づけています。
- Q 本会議での自由討議は。  
A 議員から議長に事前に申し出をして、委員長報告、質疑の後に行います。
- Q どこで行うの。  
A 当分の間、全員協議会室で行います。



七つ道具



# 4月の統一選挙より

## 議員の期末手当を改定

26年8月7日に人事院から国家公務員給与の改定勧告があった。市も同様に期末手当を改定するもの。

自由討議を行い、賛成反対の立場から意見を出し、合意を目指した。

### 自由討議の主な意見

#### 〈賛成の立場〉

- 物価が上昇しているので人勧に沿うべき。
- 公務員の給与が民間企業に反映される。当然上げるべき。
- 議員活動をするためにも上げる必要がある。
- 市は人勧に準拠しているので賛成。議員は市民のためになることを議論するべき。

#### 〈反対の立場〉

- 議員の期末手当は議員自らが判断すべき。
- 一般職員を対象とした人勧を、議員の期末手当に運用するものではない。
- 議員定数2人削減の中期末手当を改定するのはどうか。民間給与はまだ上がっていない。
- 議員定数削減は賛成の立場だが、議員の期末手当アップは市民への裏切りだ。

#### 反対討論

この改正案には本来賛成。しかし、議員定数を減らす提案があり、市民から政治、政治家に対して強い批判があるときに改正するべきでない。

酒井 弘一

#### 賛成多数で可決

(賛成15人・反対8人)

## 特別職の期末手当を改定

市特別職で常勤のもの、期末手当を、昨年度より0・15月分引き上げるもの。

#### 反対討論

公務員より民間会社の給与が多いとの理由で公務員の給与を上げて格差是正を行うのは、本末転倒。民間会社の方が少ない。

深山 國男

#### 賛成多数で可決

(賛成19人・反対4人)

## 衆議院選挙費用を承認

にする。

Q 期日前投票の宣誓書はHPからダウンロードが可能か。  
A 可能である。

#### 全員賛成で承認

Q 選挙公報の配布はどのようにするのか。

A 前回同様、新聞折り込みで行う。依頼があれば直接郵送も行う。

Q 期日前投票は3カ所のどこでも投票可能か。

A 今回から、どの投票所でも投票ができるよう



選挙に必要な

## 人事院勧告を受け 職員給与の改定

市は国に準拠しているため、数字は持っていない。

賛成多数で可決  
(賛成20人・反対3人)

# 意見書

民間給与との格差是正を実施するため、職員給与の改正を行うもの。

具体的には期末手当を昨年度より0・15月分引き上げる。

通勤手当は、距離に応じて100円から7100円までの幅で引き上げる。

新たに国及び他の地方公共団体等の派遣にかかる費用等を設ける。

**Q** 府人事委員会勧告は、もっときめ細かく利便性の高い内容になっている。検討経過の説明を。

**A** 府の人勧ではなく、国の人勧準拠という形で進めている。

**Q** 民間給与と市職員の給与の平均は、どれくらいと認識しているのか。  
**A** 国の人勧では、従業員50人以上の企業の給与を参考になっている。

**Q** 市職員給与は、府内で何番目に高いのか。

**A** 府内順位は各年代構成が異なるため、比較できない。国家公務員給与100に対し、市98・9である。

### 反対討論

増税した血税の配分の仕方が違う。国・地方が身を切つてこそ、実のある改革ができる。

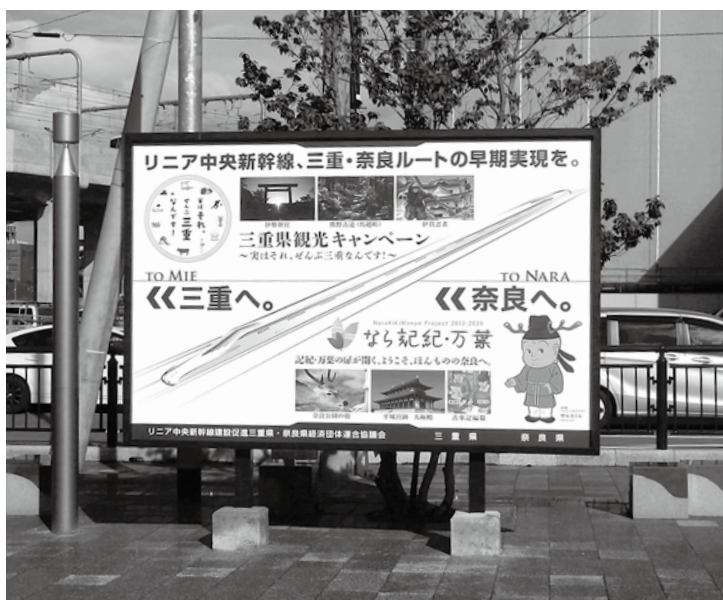
市民が景気の回復を実感してからでも遅くない。

高味 孝之

### 賛成討論

市が一貫して進めてきた人事院勧告に準拠するという方策が、地方公務員法の規定にある情勢適応の原則、均衡の原則に沿ったものである。

吉元 善宏



リニア中央新幹線早期実現

## リニア中央新幹線 全線開業の早期実現を求める

### 提出者

尾崎 輝雄・中野 重高  
西岡 政治・長岡 一夫  
高味 孝之・兎本 尚之  
島野 均・谷川 光男

23年5月26日に「中央新幹線の整備計画」が決定された。主要な経過地として名古屋市付近、奈良市付近が決定されている。

**A** JR東海がルートを自由決定したので事業費を全て出すと理解している。

世界に提供できる高い技術。

**Q** 30年先のことをなぜ今なのか。

原発再稼働と表裏ではと危惧する。

**A** 駅ができるのではと期待している。

### 反対討論

**提出先** 衆・参議院議長

国土交通大臣

**Q** 高度成長時代の発想である。

総事業費と分担は。単独ペイしない。コンクリートから人への認識は。

国のバックアップなしにできない。しわ寄せが出てこないのか。

今後の人口減少社会では「ペイしない事業」。

地震大国の日本の地下に安全はなく、エネルギー浪費のリニアは省エネ社会の流れに逆行で反対。

西山幸千子

賛成多数で可決

(賛成18人・反対5人)

# 請

# 願

ゆきとどいた教育  
条件と子育て環境  
を求める

## 賛成討論

保護者アンケートのト  
ップが経済的負担軽減で  
ある。教育費の軽減は子  
育て世帯の切実な願い。

**請願者**  
木津川市いきいき子育て  
ネットワーク  
代表 森岡 由美

代表 森岡 由美

## 紹介議員

片岡 廣・呉羽 真弓  
西山幸千子・炭本 範子  
曾我千代子

## 請願項目

- ①教育費の保護者負担の軽減を
- ②冷房設備の設置を議会として市に働きかけを
- ③支援の必要な子どもたちへの教育環境の改善を
- ④気持ちよく使えるようトイレの改修を

全項目賛成多数で採択  
(議員ごとの賛否は、6  
ページを参照)

山城支所別館の使  
用料の見直しを求  
める

## 請願者

大山 順子・大西 徳男

## 紹介議員

呉羽 真弓・西岡 政治  
七条 孝之

## 請願項目

地域住民の活動拠点と  
して山城支所別館が整備  
された。9月議会で決定  
した大ホール使用料(1  
時間あたり1000円)  
を他と均衡をとり、減額  
を求める。

倉 克伊

## 反対討論

支所別館と社会教育施  
設を比較するのは間違い。  
以前より安い。自治会な  
どは減免がある。営利目  
的の使用を考えると、下  
げるのは市に不利益。

## 賛成討論

社会教育施設の利用料  
減免基準、さらに冷暖房  
費で公平性が損なわれて  
いる。その是正を願う市  
民の請願、市民の政策提  
言を最大限尊重すべき。

酒井 弘一

A あった。

Q 地元や自治会で使用  
する場合、減免制度があ  
り負担がないからという  
意見は出ていたか。

賛成少数で否決  
(賛成9人・反対13人・  
退席1人)

A 出ていたが、減免制  
度とは違い、金額の公平  
性が主目的の請願である  
と説明がされた。



3月1日オープンの山城支所別館



# 採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載

賛成 = ○ 反対 = × 退席 = △ 議長は採決に加わらない

議員名	会派名	議 案 名（第4回定例会）											
		職員の給与に関する条例の一部改正	議員報酬等に関する条例の一部改正	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正	合併算定普通減対策基金条例の制定	木津川市の子どもたちのために、ゆきとどいた教育条件と子育て環境を求める請願書				山城支所別館使用料の見直しを求める請願書	議員の定数を定める条例の一部改正	リニア中央新幹線の全線開業の早期実現を求める意見書
							教育費の保護者負担を軽減する措置を取ってください。	これまで2度、議会で採択されている「小・中学校の普通教室・特別教室への冷房設備の設置」のための予算化をするよう、議会として木津川市に働きかけてください。	子どもを取り巻く環境は、厳しくなっています。特別な支援の必要な子どもたちをはじめ、すべての子どもたちが豊かで充実した教育を受けられるように、市独自でも教職員の増員や教育環境の更なる改善をすすめてください。	子どもたちが、気持ちよく使えるようトイレの改修をしてください。			
高岡 伸行	さくら	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○
山本 和延	さくら	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○
伊藤紀味枝	さくら	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○
倉 克伊	さくら	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○
吉元 善宏	さくら	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○
尾崎 輝雄	さくら	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○
河口 靖子	民 主	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
炭本 範子	民 主	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
七条 孝之	民 主	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
西岡 政治	民 主	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中野 重高	民 主	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兎本 尚之	きづがわ	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○	○
長岡 一夫	きづがわ	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
高味 孝之	きづがわ	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○
島野 均	公 明	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○
柴田はすみ	公 明	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○
酒井 弘一	共 産	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
西山幸千子	共 産	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
呉羽 真弓	無会派	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
曾我千代子	無会派	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
深山 國男	無会派	×	×	×	×	○	○	○	○	○	△	×	×
谷川 光男	無会派	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
片岡 廣	無会派	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○
西岡 努	議 長	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

さくら=さくら会 民主=民主改革クラブ きづがわ=きづがわ未来クラブ  
公明=公明党 共産=日本共産党木津川市議員団 無会派=会派に属さない議員

# 恭仁小・棚倉小改築を急ぐ

## 補正予算特別委員会

12月9日に委員会を開会。一般会計予算に6億5048万円を増額し、27億5345万円とするもの。全員賛成で可決。

### 主 質 疑

#### 恭仁小・棚倉小改築の予算増額

**Q** 今回の増額で、入札がスムーズに進むのか。

**A** 恭仁小学校は3回の入札不調。年度内に契約したいと考えるが、全国的な人件費や資材の高騰、人手不足があった。

#### コミバスの減額

**Q** 大幅な減額の理由は、業者との価格交渉の結果など。

#### 合併算定替基金

**Q** 新しくつくる意味、効果、影響は。  
**A** 特定目的基金として

財調基金から分離する。目的がはっきりする。

#### 消防詰所の下水道接続

**Q** 今、補正の理由は。道路に面していない詰所は問題。  
**A** 管理台帳に間違いがあり、実施する。

他と併用していたり、老朽化の問題、入口の問題も含め、見直し計画が必要と認識。

**Q** なでしこコミセンも未接続だ。

**A** 50年以上の建物であり、山城支所別館の供用開始後、地元の意向も聞いて、閉鎖も含め検討。

#### 障害児通所サービス費用の増加

**Q** 4289万円の増額は利用者数の増加か。事業者数はどうか。

**A** 人数は14人増だが、利用率の増加が大きな要因。市内7、市外16事業所。

#### 加茂支所3階の設計料

**Q** 設計の内容は。この場所での意味は。関係者の意見を取り入れたか。  
**A** 事務所から福祉施設への用途変更に伴う設計。交通の便が良い。今後、関係者と協議する。

#### 農産物を使った木津川市フェア

東京駅八重洲南口のレストランで市農産物を食材に使用する。

**Q** 広告の方法は。観光商工課との連携は。  
**A** 東京メトロガイドに

#### 木津給食センター

**Q** 経年劣化や食数増加に対応とあるが。

**A** 来年度300食ほど増加予定。食かん90個など器具の更新を行う。

掲載。連携を図っている。



改築が待たれる棚倉小学校

### 補正予算の主な事業

・合併算定替えの対策基金	4億537万円
・不妊・不育治療	190万円
・恭仁小学校の耐震改修（3カ年）	3億7545万円
・棚倉小学校の改築事業（2カ年）	9億2310万円

委員長 西山幸千子  
副委員長 吉元 善宏  
委員 山本 和延  
炭本 範子  
兎本 尚之  
呉羽 真弓

曾我千代子  
長岡 一夫  
島野 均  
尾崎 輝雄  
中野 重高  
片岡 廣

# 合併算定替対策 基金を創設

総務文教委員会

12月3日に委員会を開会し、議案8件、請願2件、報告4件を審査した。

**全議案可決**  
請願1件一部採択・請願1件不採択

## 合併算定替<sup>ていげん</sup>通減<sup>つげん</sup>対策 基金条例の制定

策に取り組み行財政改革で生み出していきたい。  
**全員賛成で可決**

**Q** 基金を新たに制定する意味は。

**A** 交付税の合併算定替え対策を明確にするため。期間は10年で、激変緩和を目的とする。

**Q** 積立目標額が12億円で、基金の充当見込額は15億円程度とある。差額の3億円は。

**A** 国へ要望している合併自治体に対する支援の充実や、合併算定替え対

## 職員の給与に関する 条例改正

**Q** 府の人事委員会勧告と比較検討は。府の実態に合わせる考えは。

**A** 今まで国の人事院勧告に準拠してきた。

**全員賛成で可決**

## 議員報酬等の条例改正

**Q** 議員の期末手当の改正には裏付けがあるのか。

**A** 期末手当は人事院勧告に基づき改正してきた。

**Q** 今回の月数の改定でいつ頃の水準になるか。  
**A** 22年度頃の水準。

自由討論を行った。

## 反対討論

定数削減の中、増額分を受け取ることは問題である。

**賛成多数で可決**

## 職員等の旅費の 条例改正

**Q** 赴任期間は1年以上になるか。

**A** 1年間の計画をしている。

**Q** 赴任の希望を募る上で条件等はあるのか。

**A** 人選は議決後に具体的に検討する。

**全員賛成で可決**

## ゆきとどいた教育条件と子育て環境を求める請願書

紹介議員から説明を受けた。自由討論を行い、討論の後、4つの請願項目ごとに採決を行った。

**Q** トイレの改修について行政側は手を付けていないと判断しているのか。

**A** 使えないトイレがあるのが現状だ。

## 賛成討論

子どもたちの健康と教育を受ける権利を守るため全項目採択すべき。



どの学校にも洋式トイレを

4項目の内「トイレの改修」を賛成多数で採択。他の3項目は賛成少数で不採択

関係部課長の出席のもと、紹介議員から説明を受けた。

**Q** 請願が採択された場合の修正案の提出はどう考えているのか。

**A** まず委員会で採択していただきたい。採択された上は、行政に動いてもらいたい。

## 山城支所別館使用料の見直しを求める請願書

大ホール使用料1時間当たり千円を他の同規模施設と比較して減額すること。

**賛成少数で不採択**



# 出産育児一時金を増額

## 厚生委員会

12月2日に委員会を開会し、議案5件、報告2件を審査した。

全議案可決

### 国保条例の改正

**Q** 出産育児一時金の改正内容は。

**A** 総額42万円に変化はない。

産科医療補償1万6千円に減額された。そのため、現行の39万円を40万4千円に増額する。

**Q** 27年1月から適用されるが、予算措置は不要か。

**A** 当初予算内で対応できる予定。

全員賛成で可決

### 国保会計の補正

**Q** 2億5千万円を追加し、総額73億7千万円とするもの。

**Q** 予備費を1億円にした理由は。

**A** インフルエンザ等、冬場の医療費の増加を見込み計上した。

収入は、交付金の確定や前年度繰越金増による。  
**Q** データヘルス事業900万円の内容は。  
**A** 医療費データを分析し、翌年度以降の保健事業に役立てる。業者委託だけでなく、関係課と連携し職員も関わっていく。

**Q** 後発医薬品の差額通知の効果は出ているのか。  
**A** 8月より通知を始めた。2月に実績が出るので現在では分からない。

診受診率は。  
**A** 健診が2100人、人間ドックが320人であつたため。25年度受診率は29・7%であつた。

### 後期高齢者医療会計の補正

1400万円を追加し、6億4400万円とするもの。

**Q** 健康診査事業費の1千万円増額の理由は。健

### 木津老人福祉センターの指定管理

木津老人福祉センターの指定管理を社会福祉協議会にするもの。期間は、27年4月より3年間。

**Q** 選定の経過は。公募はしたのか。

**A** 公募はしていない。選定委員会を設置し、総合的に判断した結果である。

**Q** 今議会での提案の理由は。指定管理料は今までと同額か。

**A** 早い時期での議決とした。今までと同額である。

全員賛成で可決



元気に育って

## データヘルス事業とは

国民健康保険被保険者のレセプトデータと特定健診結果データを用いて、被保険者の疾病状況や疾病課題等を分析し、国保医療費の適正化を推進する。

## 木津川台に新たな 企業誘致を目指す

### 産業建設委員会

12月4日に委員会を開会し、議案7件を審査した。

全議案可決

#### 研究開発型産業施設の 企業誘致

木津川台の北・西部地区の建物規制を準工業地域並みに変更する。

**Q** 商業地域並みの規制にした理由は。

**A** 学研開発から20年以上たっている現在では、経済、社会情勢なども変わり、企業の研究体制も変化してきている。

研究開発型産業施設を誘致していくために、商業地域並み規制から本来の準工業地域の用途に変

更する。

**Q** 環境の保全に十分機能を果たしてほしい。

**A** 企業を事前訪問し、事業内容を確認する。

企業立地には府の審査があり、都市計画や騒音・振動等の環境基準も含めて協議している。

精華町も含め環境保全協定を締結している。

**Q** 地域住民への説明は行ったか。意見はどうだったか。

**A** 全市民対象の説明会を実施した。建造物の圧



新たな企業誘致に向けて（木津川台北・西部地区）

#### 全員賛成で可決

迫感や車両通行など交通安全面の意見があった。

所を開く。

#### 緑地公園4カ所オープン

城山台に緑地公園4カ

**Q** 4カ所の緑地の状況は。今後の整備計画は。

**A** 4カ所のうち3カ所は完了。残る1カ所も1月中に完了予定。

今後近隣公園1カ所、

街区公園3カ所、緑地7カ所を整備予定。

#### 全員賛成で可決

#### 市道の認定

**Q** 認定する18本の道路は工事完了しているのか。

**A** 工事完了は9本、工事途中は9本である。

**Q** 工事途中の道路を認定する必要があるのか。

**A** 城山台地域の換地処分が1月末にある。最終の供用開始を27年1月10日に予定。

#### 全員賛成で可決

#### 水道会計補正予算

収益的収支で72万2千円増額、資本的収入で23万9千円増額、資本的支出で103万3千円を減額する。

**Q** 電気代約1千万円減額の理由は。

**A** 電気代の値上がりや水道使用量が増えると考え、10%増を見込んでいた。水道使用量が増えないので減額する。

**Q** 資材や人件費の高騰が続く中、建設改良費の予算が少ない。どう考えているのか。

**A** 10月に単価改正があった。特に人件費、燃料費等が上がっており、10月以降は単価改正に基づいて発注をしている。

#### 全員賛成で可決



# 敷地造成の進捗は60%

## クリーンセンター建設特別委員会

閉会中の10月28日、委員会を開会。プロポーザルの参加辞退を受け、プロポーザル中止の報告と今後の対応策についての説明を受けた。  
12月8日、委員会を開会。クリーンセンター造成工事の出来高や今後の予定の説明を受け質疑した。

### 10月28日の 主な質疑

### 12月8日の 主な質疑

**Q** 次のプロポーザルでは今回のプラントメーカーは外すのか。  
**A** 次回はP点が1300点以上とする方針である。結果として対象とならない。

**Q** 敷地造成工事の設計変更に伴う工事費の増減について、仮設費増を当初から見込むべきではなかったのか。  
**A** 実際の施工協議を進める中で生じたものであり、やむを得ない内容と考える。

**Q** 残土処分のダンプに関して、住民からの苦情等はないか。  
**A** 苦情は3件。延べ7千台を超える台数。交通マナーの順守を要請する。

**Q** 前回のプロポーザルはHPに公開されたが、今回は公表されていない。公表度合いが違ふ。  
**A** 前回は公募のため揭示する必要があった。今回は対象となるプラントメーカーへの通知のため公開していない。

**Q** 敷地造成工事に関して設計変更が生じる見込みであれば、金額について説明を。  
**A** 今後精算するので金額を確定できない。大規模を確定できない。大規模を確定できない。

**Q** 敷地造成工事に関する府道部分に雨水管を埋設する関係上、片側通行が生じる。  
**Q** 施設整備の工期が6

模な土木工事だから多少の契約額の変更は生じると考えている。

**Q** プラントメーカーの選定について今回は大丈夫か。  
**A** 早期建設、早期稼働を目指し、できる限りの努力、取り組みをする。

**Q** 今回のプロポーザルについて、参加者数の公表など、手続きの透明性の確保は考えているのか。  
**A** 選定経過を事後公表することで、透明性は確保されると考える。

カ月程度遅れるとのことだが、稼働時期に変更はないか。  
**A** 早期建設、早期稼働の方針は変わらない。

### ワード

#### P点

建設業法に基づき、公共工事の入札に参加する建設業者の経営規模、経営状況、技術力等の客観事項を点数化した値



順調に進む造成工事



# 議員定数22人に決定

議員定数特別委員会

9月26日「議員の定数を定める条例の一部改正について」を付託され、閉会中に継続して審査を行った。

## 閉会中の委員会審査

10月8日

**Q** 22人とする根拠を確認したい。

**A** 23年以降、行革の観点で研修を実施してきた結果。

より審査を深めるため、公聴会の開催について議論した。

公述人の数は賛成・反対それぞれ3人とし、公募の締切日、市民アンケート実施を併せて決定。

10月15日

議員定数に関するアンケート実施について、無作為抽出とし、重複を避けるために郵送と決定。

11月6日

公述人を募集した結果、18人の応募があり、くじにより賛成3人、反対3人を選出。公述、質疑は20分以内と決定。

11月13日公聴会

公述人6人から、反対賛成交互の意見を聞いた。

## 反対公述人の意見

森本 茂

小森 明夫

天野 輝雄

(敬称略)

○議員定数を財政の問題でとらえるのは間違い。

減で質が向上、活性化するという考えは違う。

○行政に対する抑止力が低下する。人口増の中で減らすべきでない。

○多様な地域や人口増があり、定数増が必要。

地域の実態を調べて課題として上げるには24人より増という考えだ。

## 賛成公述人の意見

近藤 孝次

福澤 修一

黒田 良雄

(敬称略)

○時代に合わせて変化する必要がある。経常収

支比率をみると各市町村は大変厳しい。

○減らしても、より多くの市民の意見を聞くように。定数が多ければ

民意が拾えるというものではない。

○算定替えの交付税が減額となる。さらなる行

財政改革の実施が求められる。

○委員から質疑を行った。

**Q** 2人減で4年間4千万円の削減を行革と考えるか。

**A** 議会改革が必要。行革にならない。

11月25日

公述人の貴重な意見や御礼申し上げます。

アンケートの結果をもとに質疑を行う。

**Q** 改めて22人の根拠は。

**A** 自治体の人口、合併の状況を検討の結果。

自由討議を行った。

## 討論

反対・賛成の討論をそれぞれ3人が行う。

## 反対討論

木津川市議会では22人が最適だということに対する説明がない。

## 賛成討論

アンケート結果を重要視せざるを得ない。

## 賛成多数で可決

(賛成8人・反対3人)

公述人の皆様には貴重なご意見ありがとうございました。

御礼申し上げます。



11月13日 公聴会を開催

委員長  
副委員長  
委員

七条 孝之	高味 孝之	河口 靖子	炭本 範子	兎本 尚之	呉羽 真弓
倉 克伊	島野 均	酒井 弘一	深山 國男	吉元 善宏	尾崎 輝雄

# 議員定数に関するアンケート結果

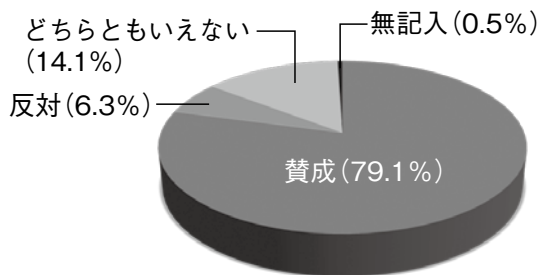
議員定数を24人から22人に2人削減することについて、2,000人の方を対象にアンケートを送付させていただきました。結果を報告します。

- 調査対象 市在住の満20歳以上の男女
- 対象者数 2,000人(男性1,000人、女性1,000人)
- 対象者の抽出 市住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法 郵送による
- 実施期間 平成26年10月27日(月)～平成26年11月10日(月)
- 回答者の男女別人数／男性407人、女性414人、無記入7件 計828人(回答率41.4%)

問 議員定数を24人から22人に2人削減することについて

賛 成	反 対	どちらともいえない	無記入	合 計
655 人	52 人	117 人	4 人	828 人

## 定数を24人から22人に削減することについて



## 〈主なご意見〉

- 人口5～10万人未満の全国の市平均22.7人(H23調査)となっている。木津川市は7.3万人で多すぎる。
- 2人減でもまだ多い。さらなる定数の見直しを。
- 市の人口は城山台の開発でまだ増加が期待される。議員数を減らしては、住民の意見が反映されない。報酬額を減らして人数を減らさない方向でやってほしい。

アンケートにご協力をいただいた皆さん  
 ありがとうございました。

## 平成27年 第1回(3月)定例会予定

月	日	曜日	会議・委員会
2 月	13 日	金	議会運営委員会 (議会招集告示)
	20 日	金	本会議 (開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等
	23 日	月	本会議 (予備日)
	24 日	火	総務文教常任委員会
	25 日	水	厚生常任委員会
	26 日	木	産業建設常任委員会
3 月	2 日	月	クリーンセンター建設特別委員会
	3 日	火	補正予算特別委員会
	5 日	木	本会議 一般質問
	6 日	金	本会議 一般質問
	9 日	月	本会議 一般質問
	10 日	火	本会議 一般質問
	11 日	水	予算特別委員会
	12 日	木	予算特別委員会
	16 日	月	予算特別委員会
	17 日	火	議会運営委員会
	18 日	水	本会議 (閉会) 議案採決等
	20 日	金	本会議 (予備日)

- 日程については、変更となる場合があります。
- 本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行われ日程が確定します。
- 本会議・委員会は9時30分から始まります。どうぞ傍聴にお越しください。
- 次回議会日程の他、今までの本会議の様式や会議録について、市のホームページ(市議会)から閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

一層の行財政改革に取り組みべき

合併通減対策基金を創設する

**Q** 市も今後人口の増加が緩やかになると思う。ますます少子高齢、人口減少が表面化すると考え一層の行革が必要。

① 民生費の増加理由は。  
② 扶助費の増加理由は。  
③ 交付税の合併算定替えに向けた取り組みは。

**A** 総務部長 ① 障害福祉サービス費や、生活保護費、介護保険費、保育所運営費など対象者の増加、障害児通所支援サービス費の制度改正や新児童手当の制度拡充等。② 制度の改正と利用者の増加のため。③ 全事務事業の洗い出し調査を進め、合併算定替通減対策基金の創

設。

庁舎周辺の土地利用は

**Q** 市道335号が整備され、庁舎周辺の土地利用に向けて考える時が来た。① 庁舎南側住居の移転は。② 木津簡易裁判所の移転計画は。③ 関西アーバン銀行の移転計



さくら会

尾崎 輝雄

画は。④ 庁舎北別館に隣接している前木津町商工会館の利用計画は。

**A** 総務部長・建設部長 ① 了解いただき具体的な事務を進めている。② 庁舎周辺は市の顔。裁判所の移転は考えない。③ 現時点移転計画はなし。④ 他目的での利用計画はなし。



前木津町商工会館の利用計画は



テレビの設置が欠かせない避難所

災害時の避難所にテレビの設置を

情報提供は必要。今後、検討する

**Q** 避難所における災害情報の収集は万全か。

**A** 総務部理事 各避難所には災害情報伝達用のテレビ等の整備はできていない。

**Q** 避難生活を想定するとテレビやラジオによる情報収集・提供が必要では。

**A** 総務部理事 そのような配慮も必要。

**Q** 避難所における災害情報の収集は万全か。

**A** 総務部理事 最新情報の提供は必要不可欠。今後、検討する。

**Q** 高齢者や障がい者等への個室の確保も必要では。

**A** 総務部理事 そのような配慮も必要。



さくら会

高岡 伸行

歩きスマホ規制条例を

**Q** とっさの対応が取りにくい高齢者や子ども連れ、妊婦の方々にとっては携帯電話を操作しながら走る自転車は凶器

操作をしてはいけないという世論を形成すべき。条例等で規制する考えは。

**A** 総務部長 条例化の予定はなく、交通安全全対策協議会と連携し啓発活動を実施する。

**Q** 学校・PTAと連携した指導等の考えは。

**A** 教育長 正しい指導を徹底する。

**Q** 条例をもとに啓発を進めるべきでは。

**A** 市長 徹底した啓発は必要。条例制定は検討する。





行政の第一義は住民の生命と財産を守ること

## 災害に強いまちづくりを

### 自主防災組織の活性化に努める

**Q** (1)12月7日に防災訓練を実施。①各箇所の参加者数は。②避難訓練の成果と反省点は。アンケート集計の分析と課題は。③今後の計画は。  
④内水ハザードマップの進捗は。  
(2)ボランティアの活動支援体制の整備における①

**A** 受入れ体制は。②ボランティアコーディネーターの育成・登録は。③常設型災害ボランティアセンターの考えは。  
**総務部理事**(1)①木津163人、加茂93人、山城211人。総数467人。②判断基準が異なり、一層の啓発が必要。

**Q** ①区画数は。②駐車場数は。③タイムスケジュールは。④使用料

### 新墓地のその後は

③地域と連携して実施。④本年度中に作成しHPに公表。  
(2)①協賛中。②設置後行う。③27年度に構築。



さくら会

伊藤 味枝

・管理料は。⑤管理運営は墓地管理委員会なのか。  
**A** 生活環境部長 ①一般墓地区画が約4300区画と合葬式墓地4000区画。②44台。③27年度内に造成完了。28年4月から分譲開始。④未定。⑤東山墓地管理委員会の役員と協議中。

## まち・ひと・しごと創生法を活用

### 住み続けたいまちづくりの事業に

**Q** 全国5割の自治体で、子どもを産む世代が半減する試算が示された。地方が生き残りをかけ地域力の強化・担い手となる人材確保など「まちおこし」を重要課題と位置づけ対策を進める。わが市も人口増にあぐらをかくことなく、対応を急ぐべきである。

**A** 市長公室長 今後、国が示す方針を見極めながら取り組む。市の色彩を出した計画をまとめていく。

**Q** 事故多発交差点の改善は25年10月に「止まれ」の標示をしたが、庁舎周辺の事故は減ったのか。  
**A** 総務部長 26年1月



きづがわ未来クラブ

高味 孝之



ボランティアの活動支援体制の整備を

## ワード

### 「チャッターバー」

自動車に速度を落とさせるために道路に設置される、細長い金属製の突起物。

**A** 建設部長 溝ぶたを細めのグレーチングに変えていく。  
**Q** 庁舎西方面の歩道の改善は進んだか。

から11月まで7件発生した。チャッターバーを設置していく。

農地中間管理機構の活用は

意欲のある担い手に

**Q** 人・農地プラン（府の京力農場プラン）の進捗状況は。

**A** 建設部長 これまでに6経営体10人の新規就農者を支援・確保できたが、26年度より要件が厳しくなり支援・確保が難しい。

**Q** 京力農場プランの作成が難しい。

成主体は。

**A** 建設部長 関係機関や農業者の検討会を経て、市が策定・決定する。

**Q** プラン作成があつて、農地中間管理機構の活用につながると考えるが。

**A** 建設部長 農地中間管理機構の活用につながると考えるが。



さくら会

山本 和延

管理機構の事業には、農地を集積し経営規模を拡大する意欲のある担い手が必要である。

**Q** 農地の集積には農地基本台帳の利活用が必要と考えるが。

**A** 建設部長 プランでは担い手に対する農地集積計画を定めていて、

農地基本台帳や登記簿を利用して所有者や面積等の確認を行ってきた。

**Q** 5年後10年後の後継者や耕作放棄地について具体的な目標は。

**A** 建設部長 26年6月24日に決定した農地中間管理機構以外に具体的な改革内容がない現状であり、法人化された企業の参入等を進めていきたい。

耕作放棄地を活用せよ



耕作放棄地を活用せよ



史跡高麗寺等のメニュー化を

基金運用・起債調達の効率化を

利回りアップ・利子軽減に努める

**Q** 25年度決算で、基金残高は11億8千万円、起債残高は3億7800万円と合併後最高となった。

近年、財源確保に向け資金の効率的運用が求められている。

そこで①基金等の運用状況と今後の運用方針は。

②起債調達の効率化を。③財務活動管理方針を定める考えは。

**A** 会計管理者①25年度決算の運用利回りは年0・225%、今後利回りアップに努める。②利子負担の軽減に努めている。さらに工夫したい。③今後、研究したい。

メニューの具体化を

**Q** ふるさと応援基金条例を制定し6年余りが経過した。政府は、地方創生に期待し今後制度拡充を行う予定である。そこで①人的交流の取り組みは。②メニューの具体化は。③②を踏まえ

飯称『ふるさと納税検討委員会』の設置は。④市長公室長①イベント等を通じ、地域住民との交流を進める。②寄附者が応援したいと思つていただけるメニュー作りを進めたい。③関係団体等に広く意見を求め、関係課協議会で研究・検討を進めたい。



民主改革クラブ

西岡 政治

飯称『ふるさと納税検討委員会』の設置は。

**A** 市長公室長①イベント等を通じ、地域住民との交流を進める。②寄附者が応援したいと思つていただけるメニュー作りを進めたい。③関係団体等に広く意見を求め、関係課協議会で研究・検討を進めたい。

④市長公室長①イベント等を通じ、地域住民との交流を進める。②寄附者が応援したいと思つていただけるメニュー作りを進めたい。③関係団体等に広く意見を求め、関係課協議会で研究・検討を進めたい。

④市長公室長①イベント等を通じ、地域住民との交流を進める。②寄附者が応援したいと思つていただけるメニュー作りを進めたい。③関係団体等に広く意見を求め、関係課協議会で研究・検討を進めたい。





福祉避難所の開設訓練

## 障害年金判定の市の対応は

### 記入の仕方等を丁寧に説明する



きづがわ未来クラブ

長岡 一夫

望書を提出している。

**災害時の福祉避難所は**

**大規模災害への備え**

**として、福祉避難所**

**も重要な拠点である。ど**

**の施設と協定を締結され**

**福祉避難所設置と運営を**

**どのように進めるのか。**

**保健福祉部長**

**協定**

を締結している施設は、現在11施設。内容については、事業者等が運営する施設内に避難所を設置し、要支援者等を支援するため、運営方法など必要な事項を定めている。今後は、各施設ごとの連携も含め進めていく。

**Q** 病气やけがで一定の障害がある人が受ける国の障害年金で、申請に対する支給・不支給の判定結果に都道府県間ではばらつきがあり、不支給の割合に最大約6倍の差がある。

市の考えと対応は。

**A** 生活環境部長 市が

行う年金業務は、法定受託事務であり、従って、専門の年金相談員が十分聞き取りをした上で、申請書の記入の仕方等を丁寧に説明することが、市のできることの中で重要と考えている。

**A** 保健福祉部長

また国に適正な認定について、府協議会から要

## 近々に迫る在宅介護整備充実は

### 医療と高齢者の結びつけを検討中

**Q** 2025年に向けて、在宅介護に医師、薬剤師、看護師、介護士等の連携や活用をどうしていくのか。

**A** 保健福祉部長 相楽

地域の多職種連携ネットワークに参画し、医師や薬剤師等の関係者と地域の課題を検討中。

**Q** 具体的例の考えは。

**A** 保健福祉部次長 山城総合医療センター

では、地域包括ケア病棟を開設されたことで、高齢者をどう結び付けるかである。

**Q** 介護支援ボランティアの構築は。

**Q** 進捗状況は。

**A** 保健福祉部長 7月

8月から「まかせて会員



民主改革クラブ

河口 靖子

**A** 保健福祉部長 地域の特性に合ったシステムを検討中である。

ファミサポセンターは

「に講習会開催、10月から相互援助活動開始。料金は平日700円/時、土・日800円/時。時間は7時～20時。

**農地保全と環境保護は。**

**Q** 今後の考え方は。

**A** 建設部長 府におい

て、森林環境税を検討中。市で行っている森林政策全体にこの税が使えるよう要望した。



施設で活動されているボランティアさん



## 不動川トンネルと周辺道路整備は

### 市民の安全面から府へ要望を継続

**Q** ①府道上狛城陽線の不動川トンネルと付近道路工事が遅れている。住民からも早期整備を望む声を聞く。周辺は事故も多く、市民の安全面からも早期着工が必要。

の代替道として必要であり、早期実現を望む。

**A** 建設部長 ①この府道は、市の主要な生活道路であり、府に毎年要望を提出。多額の工事費であり費用対効果を検討中。

②木津川右岸宇治木津線は、市の重要な基幹道として、災害時に国道24号

②宇治木津線は、市内から宇治・京都や新名神の



さくら会

倉 克伊

アクセス道として、また、災害時にも物資搬送の重要な道路となる。促進協議会を通して、早期事業化を要望している。

### 南河原川の改修を急げ

**Q** 山城町・宇治の南河原川は、昭和28年水害の復旧の間知石空積工法

であり60年が経過。底が洗われ付近の宅地にも危険な箇所が見受けられる。早期の改修を。

**A** 建設部長 地元の要望もあり、本年度は調査・基本設計、次年度は詳細設計と関係機関調整を行い、28年度から工事着手の予定。



不動川トンネル



各階1カ所、洋式トイレの設置へ

## 学校トイレの業者清掃の実施を

### 学校から要望があれば実施する

**Q** ①子どもたちが気持ちよく使うために専門業者による年に一度の清掃実施を。また洋式トイレの学校間格差は早急に改善すべき。

計画を立てる努力を。

③中学校卒業までの医療費助成、4月からの実施を決定せよ。

**A** 市長・教育部長・保健福祉部長 ①木津小は24年から業者清掃を実施。各階ごとに男女各1カ所以上の洋式トイレ設置を予定。

②梅美台小の保護者から熱中症の訴えがあった。地球規模で温暖化が進み、エアコンが必要な時代だ。



日本共産党

西山幸千子

## 市民を守る介護保険に

**Q** ①「介護はなし」の制度改悪から、市民を守る考えと取り組みは。②市独自の利用料減免制度を考えるべき。

**A** 保健福祉部長 ①サービスの充実や効率化の改正である。法を順守し適正運営に努める。②国制度に準じ、独自のものは考えていない。



駐輪場に設置された防犯カメラ

## 通学路等に防犯カメラ設置を

### 27年度中に設置を目指す



公明党

島野 均

により伝達する。  
受動喫煙防止策は

**Q** 子ども連れ去り事件が全国的に増加している。市内小中学校通学路、公園、駅周辺等に防犯カメラの設置を。地域からの要望は何件あるか。

**A** 市長・総務部長・教育部長 10月JR木津駅東、西側駐輪場に設置した。西木津駅駐輪場に

も設置する。通学路のカメラは、未然防止する抑止効果もある。27年度中に条例等考え、通学路に設置を目指す。要望は木津地域6件、加茂地域1件。

土砂災害等の避難周知を

**Q** 市内に土砂災害警戒

区域等は36地区280カ所ある。山城地域は過去にも災害歴史あり、再度周知徹底を。避難勧告はいつ出すのか。

**A** 総務部理事 警戒区域は防災マップを4月に全戸配布、HP公表。危険区域は再度回覧にて周知。勧告は府の情報等

**A** 市長公室長 公共施設内では禁煙とし受動喫煙防止に取り組む。灰皿は指摘があるので検討する。

**Q** 公共施設の受動喫煙対策は。本庁東側入口の灰皿は消して捨てる器に変更すべきでは。

## サテライトスタジオで起業家誘致

### 検討したい



曾我千代子

**Q** 工場跡や古民家を利用してのサテライトスタジオを作って、若い起業家の誘致に取り組むことで、学研地域の企業誘致が進むと考える。

**A** 市長 良い提案として検討したい。

産廃埋立の監視体制を

**Q** 加茂町当尾で、拡張される産廃の埋め立て計画はどこまで進んでいるのか。また、その地域は観光地なので景観を重視すべきだ。水質などの監視体制はどうするか。監視委員は市内全域から選ぶべきだ。

**A** 生活環境部長 当尾

区が同意したので、府と協議中である。汚水は外に出ない構造なので問題はない。委員の見直しは行わない。

住民要望から

**Q** ①歴史跡の観光地にはイメージが湧くような模型や写真を掲載し

た立て看板が必要だ。②ジビエ料理のレシピコンテストをして有害鳥獣対策に協力すべきだ。③窓口業務は「指さしボード」を活用して、耳が不自由な方々とのコミュニケーションアップを図るべきだ。

**A** 教育部長・建設部長・保健福祉部長 ①作

り替えるときに考えたい。②検討したい。③その支援方法も考える。



神山町のサテライトスタジオ



## 加茂支所3階の有効活用は

### 社会福祉施設に整備する

**Q** 就労継続支援B型と児童デイの事業はいつできるのか。

**A** 保健福祉部長 3階の約半分を事務所から社会福祉施設に用途変更し、府の福祉のまちづくり条例に基づいて、入りの修理や、消防法上の改修もする。開設は27

年度の早期。

**Q** 3階の残りの部分の使い道は。

**A** 保健福祉部長 今考えていない。

利用しやすい公共交通に

**Q** 住民は、バス運行を加茂支所、法花寺野から木津駅や本庁までを

望む。

**A** 市長公室長 できない。効率的なバス運行に努める。

**Q** 21年から25年までバス利用者が大幅に減った。理由は。

**A** 市長公室長 バスを使う用事が減った。市民の足を確保するため



民主改革クラブ  
炭本 範子

限りある財源を有効に活用し、効率的な運行に努める。

### 変則交差点の改良を

**Q** 国道163号と市道との交差点改良は、瓶原地区の長年の要望である。府では「市が計画を立ててもらえば協力する」と言われた。

**A** 建設部長 交差点改良は必要と考えるが、時期については未定。



変則交差点の改良を



「市総合計画」冊子

## 当尾の郷会館と福祉ゾーンの変更

### 条例の変更も考える

**Q** 障害福祉手当を廃止し、市民に約束した福祉施策を市は変更した。市も出発時から「ボタンのかけ違い」があったと認めている。原因は関係者の声を十分聞いて準備しなかったこと。関係者にお詫びせよ。

以上は、条例の変更が必要だ。

**A** 市長・教育長・関係部長 地元に対する説明が遅れたのは、市の方向変更の決定に時間を要したから。今後、関係者の声を聞く。

指定管理がなくなった

指定管理をやめる。府道改良の遅れは、当



日本共産党  
酒井 弘一

尾の郷会館整備の遅れと関係する。

### 自治基本条例の制定

**Q** 自治基本条例の検討結果はどうか。市民からの情報公開請求に、市は「検討資料は開示できない。公文書がないから」と回答した。事実か。

事実ならきまんた。  
**A** 市長公室長 総合計画制定後、5年間はいろいろ調査もした。しかし、アンケートに見る市民の関心度も低く、現在作業を止めている。だから記録文書はない。まとまった自治基本条例はなくても、段階的に必要なものは進めている。





京大農場建設用地（城山台）

## 京大新農場と市の連携は

### 今後積極的に協議を進める



片岡 廣

**Q** ①京大の地域貢献について。市民や農業者への研修や交流にどう取り組むのか。②小中学校の教育の場として、校外学習や職業体験学習の取り組みの考えは。③施設工事の内容は。

**A** 市長公室長・教育部長 ①市民講座や交流

会の提案があり、市として連携を積極的に進める。②農場での研究内容を教育活動に取り入れ、職場体験学習の受け入れもお願いしたいと考えている。③建設工事に関する説明会が開催され、本館3階建て循環施設・機械施設を建築する予定と聞く。

一日も早い稼働を目指せ

**Q** ①クリーンセンター施設整備における発注仕様書の強化が図れたのか。②プラントメーカーの総合評定値P点の見直しはされたのか。何点に変更されたのか。③参加申請・提案審査・見積

書の今後の精査の考えは。  
**A** 生活環境部長 ①施設性能を確実に確保できる発注仕様書に補強。②1000点から1300点以上に変更。③改めてプロポーザル手続を進め、一日も早い稼働を目指し工期の設定を行う。

## 交付税の大幅な減額に向けて

### 全事務事業の調査を進めている

**Q** 広報きづがわにも大きく取り上げられている交付税の減額に対する財政対策の進捗は。

**A** 総務部長 市役所内、全事務事業の見直し調査を進めている。市民の理解と協力は欠かせないものと考えている。

**Q** 行財政改革推進室は、国・府の補助金等を活用している事業の中身の内訳までしっかりと把握して進めているのか。

**A** 総務部長 国・府の補助金、市の事務事業の性格は様々であり、個々の事業内容・市民ニーズ・他自治体の状況な



きづがわ未来クラブ

兎本 尚之

どを総合的に判断する必要があると考えている。補助金や交付金の活用に至るまでの経緯はどのようか。

**A** 総務部長 所管省庁や府から通知等を関係する部署が受け取り、市の施策に広く関わる場合には、全庁的に制度の

周知を行うなど財源確保に全力で取り組んでいる。地域経済循環創造事業交付金は、どの課が把握し、どの課がイノベーションするののか。

**A** 市長公室長 学研企画課。該当する事業が出てきたら積極的に活用していく。



しっかりとした行財政改革の推進を

無線LAN環境の導入に期待して

ペーパーレス化を目指す

**Q** 府内で先駆けての庁内無線LAN環境。技術面や管理面でセキュリティ対策には、十分注意する必要があると考える。

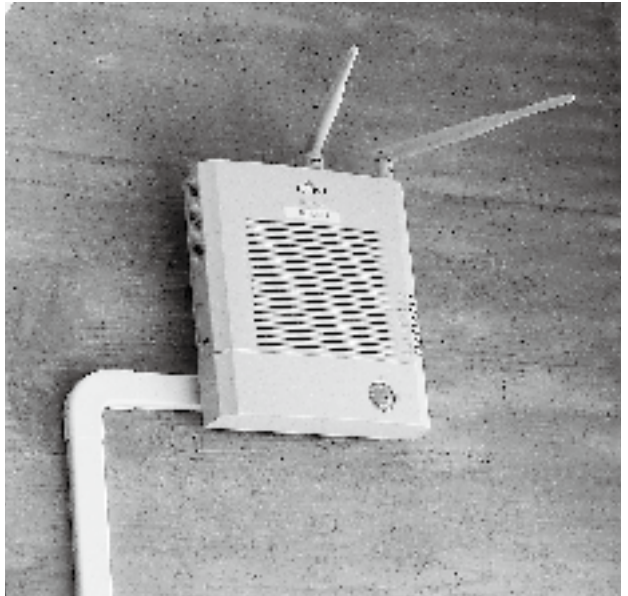
有線と比べ第三者に傍受や窃取といった脅威のリスクも、①取り組み経緯は。②活用方法と移行時期は。③導入、運用に際し、セキュリティ上の脅威及び対策は。④情報系端末の整備状況と配置計画は。⑤無線LAN環境で将来的な方向性や可能性は。⑥操作方法、セキュリティ対策の研修は。

**A** 市長公室長①有線LANでは、人事異動時に机配置の変更により多大な時間を要したので改善した。②会議室や災害対策本部で使用しやすい環境を整える。③電波窃取を防止するため、総務省のガイドラインに基づき、

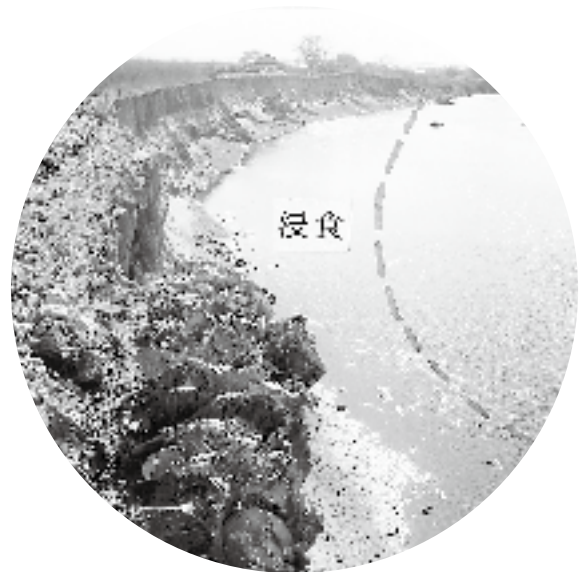


民主改革クラブ  
中野 重高

不正アクセスポイントの監視、内部ネットワークへの侵入防御対策をする。④無線アダプターが必要な端末は180台あり、全職員に使用可能にする。⑤事務の簡略化、資料配布が不要になり、ペーパーレス化が図れる。⑥まず、管理職会議等で使用し操作の研修をする。セキュリティ研修は定期的に実施する。



整備された無線LANアクセスポイント



市・民有地の復旧を

河川敷地内の民有農用地の復旧を

治水優先、民有地の復旧は困難

**Q** 農用地を守る対策について①農用地復旧に対しての市の考えは。②河川管理者への要望の経過等は。

**A** 市長・建設部長①流水を阻害するような構造物は困難。②雑木の伐採要望を強める。

行政答弁後の進捗は

**Q** 一般質問等のその後。①介護サービスのスビドアップは。②山城地域の備蓄食糧の購入は。③ごみ拠点収集地域の老人(障害者)対策は。④山城支所別館使用料決定後の類似施設の見直しは。

**A** 市長・総務部長他①2年で5日短縮。②今年度実施。③福祉部局と継続検討。④使用料は目的に応じ設定。同一単価にする考え無し。福祉給付者へ万全対応を



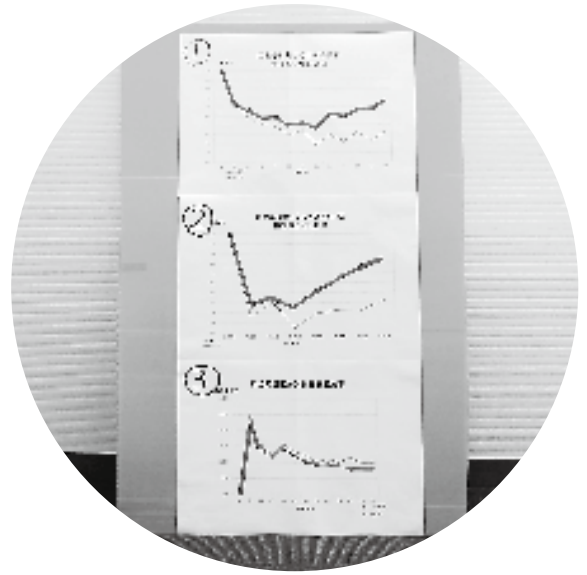
谷川 光男

**A** 保健福祉部長①8092人の案内通知に対して6452人支給。②担当部局として一定の周知はできている。③未提出者への勧奨実施。期限を1月15日まで延長。

**Q** 消費税の引き上げに伴い、所得の低い方の質問を行った。

々へ福祉給付金が支給されている。①支給対象者の実態は。②案内通知されたが漏れ落ち等は。③提出期限が経過したがその後は。





市が子育て会議に示した保育料案のグラフ化

## スピード感を持って処理すべき

### 早急に解決に向けて努力する

**Q** 市民の信頼を得るためにも、事務を早くせよ。①訴訟費用請求後から2年半が過ぎた。住民訴訟は行政チェックの公益が目的であり、府内他市町は訴訟費用請求をしていない。やめよ。②民生委員同意後の事務が遅い。

**A** 総務部長・保健福祉部長①早急に解決する。②おわびする。スピード感を持って適正に進める。



真羽 良

**A** 教育部長 部を超えての連携を進めていきたい。地域活性化につながるよう努める。

**Q** 保育料値上げを問う

**A** 4月からの保育料案は、現行の13区分から8区分に変更。低所得者ほど値上げ幅が大きい

**A** 市長・保健福祉部長 今年度と変わらない状況でいきたい。パブコメはしない。必要と思う情報公開度を上げよ

**Q** 公開度アップとして手続きの簡略化を。

**A** 総務部長 職員のメモも公開対象か。職務上作成したメモは、対象である。

## ふれあい収集の実施を

### 福祉支援事業と連携する



公明党  
柴田はすみ

**Q** 高齢者のごみ出しが大変な地域があるが対策は。

する意味でもポイント制度が有効と考えるが。

**A** 保健福祉部長 今後検討していく。

**A** 生活環境部長 福祉部局と検討を進めている。

**Q** 児童虐待は7割が生後6カ月以内に発生している。子育てを継続的に支援するためにヘルパー事業を実施するべき。

**A** 保健福祉部長 保健師の家庭訪問や家事

**Q** 住み慣れた地域で暮らし続けるためには介護ボランティアが重要。ボランティア活動を支援

**A** 市長・保健福祉部長 超高齢化に向けて必要と認識している。実施に向け、前向きに準備を

**A** 保健福祉部長 保健師の家庭訪問や家事

**Q** 住み慣れた地域で暮らし続けるためには介護ボランティアが重要。ボランティア活動を支援

**A** 市長・保健福祉部長 超高齢化に向けて必要と認識している。実施に向け、前向きに準備を

**A** 保健福祉部長 保健師の家庭訪問や家事

**A** 教育部長 部を超えての連携を進めていきたい。地域活性化につながるよう努める。



もっと就労支援を

# 組合議会報告

## 25年度決算を認定

(加茂笠置組合)

10月29日、定例会開会。  
認定1件を審議。

25年度決算は、収入8

277万円、支出818

8万円。収入の主なもの  
は、線下補償金。支出の

主なもの、自治振興基  
金積立金など。

## 全員賛成で認定

市の住宅用火災警報  
器の普及率65%

(相楽中部消防組合)

11月17日、定例会開会。  
議案3件、認定1件を  
審議。

25年度決算は収入17億  
163万円、支出16億6

747万円。差引額34  
16万円。

火災警報器の普及率に  
関し質疑があった。木津

川市65%、笠置町41%、

和束町18%、南山城村88  
%、全体で66・4%。

組合職員の給与に關す  
る条例の一部改正は、若

年層の給与を引き上げ、  
50歳代を引き下げる。

## 全員賛成で認定

## 2件とも賛成多数で可決

補正予算は、人事院勧  
告に基づく職員給与の増  
額。

組合職員の一部改正は、若  
年層の給与を引き上げ、

50歳代を引き下げる。

組合職員の一部改正は、若  
年層の給与を引き上げ、

50歳代を引き下げる。

## 償還終わり黒字決算

(広域事務組合)

11月17日、定例会開会。

議案2件等を審議。

公平委員に藤本氏。

一般会計決算は収入5

億4870万円で各市町

村の負担金や分担金が、  
95・4%を占めた。大谷

処理場の起債の一部償還  
が終わったため151万

円の黒字会計となった。

特別会計決算は収入1

902万円、支出168

5万円。休日診療所の1

日当たりの受診者が25年

度10人に増えた。今後も  
広報に努めていくとのこ

と。

給与条例の改正は、国

の人事院勧告に基づき、

勤勉手当の割合、通勤手

当等を民間給与水準を踏

まえて、改正するもの。

全議案全員賛成で同意・

認定・可決

## 補修経費を増額

(西部塵埃処理組合)

11月20日、定例会開会。

25年度決算は収入3億6

745万円、支出3億4

921万円。分担金は2

億3067万円で、市の

分担率は60・27%。年間  
ごみ処理量は1万539

9トン、処理コストが2

万2502円／ト。

職員の給与条例の一部  
改正は人事院勧告による

もの。

補正予算の2836万

円の増額は、炉の補修な

どのため。

## 全議案全員賛成で認定・可決

全議案全員賛成で認定・

可決

## 3年連続の黒字決算

(山城病院組合)

11月26日、定例会開会。

同意1件、承認1件、認

定2件、議案8件を審議。

病院決算は、収入65億

6402万円、支出63億

775万円。2億562  
7万円の黒字決算となり、

前年度比、1億5352

万円の減収。

老健「やましろ」の決

算は、収入4億5985

万円、支出4億6511

万円、526万円の赤字

決算。現金収支では41  
6万円の黒字。

育児休業は57日間に延

長。人勧により、職員給

与0・3%、ボーナス

0・15月分引き上げ。

オムツは病院支給が原

則。18本の条例の用語等

を整理した。

全議案全員賛成で同意・

認定・可決・承認



26年度中部消防本部出初式(相楽台小学校)



# 第8回市民と議会をつどい（議会報告会）を開催

11月16日（日）に、9月定例会の審議結果の説明及び「議員定数・報酬等検討会」の検討状況の報告後、市政全般にわたり市民の皆さんと意見交換を行った。

## 市役所北別館 （参加者11人）

**Q** 議員定数にかかる市民との意見交換会・公聴会・アンケートのそれぞれ



れの位置付けは。思いをきっちり受け取ってほしい。  
**A** 個々の議員が判断する。

**Q** 政務活動費の透明性は。支出は適正か。

**A** 1円まで領収書を添付している。調査研究は、宿泊費と公共交通機関運賃実費を支出。会派広報紙の経費の4分の1は自費。

年1回議会だよりに詳細を掲載している。

**Q** 交付税削減、借金増加について、長期的な財政健全化の観点からどう対処されるのか。

**A** 財政は厳しいが順調に推移している。交付税削減に向けては行財政改革が大切で、行政の監視役として議会の課題と認識している。

## 加茂文化センター （参加者10人）

**Q** 新しく山城支所別館をなぜ建てなければならぬのか。アスパア等他の施設も稼働率が低い。

**A** 旧山城町福祉センターを耐震面から新築したもの。災害時の避難場所にもなっている。

**Q** 市の財政状況が健全であるならば、もう少し



借金をするか基金を取り崩し、住民サービスに向けるべきでは。

**A** 市の財政状況は借金が多い。借金を減らすと同時に市民の要望に応えていく必要がある。

**Q** 議長の選任について研修しているとのことだ。議長選挙は立候補制か。

**A** 来年は取り入れたい。

## アスパアやましろ （参加者7人）

**Q** 中間管理機構の認定農業者の選び方は。

**A** JAが各農家に対しての意見集約をされている。行政とのすり合わせにより、中間管理機構に対する基盤や方向性が決められると思う。



**Q** 農業委員の報酬をどう思っているのか。

**A** 特別職報酬審議会で議論されると思う。報酬は農業委員の役割を担う方が、どんどん出られる状態にも関係してくると思う。

**Q** 市は、文化財保護や椿井大塚山古墳整備に取り組んでいない。

**A** 文化財保護の取り組みは後になっている。

## 全員協議会で総括

12月17日に全員協議会を開会し、各会場からの意見を全議員で確認した。

## 市長に概要報告

今後の市政に活かすべく、正副議長と正副議会運営委員長の4人から、市長に「市民と議会をつどい」の実施報告書（市議会HPに掲載中）を手渡し、行政への要望等会場での意見交換の状況を伝えることにしている。

# わたしの意見

このコーナーへの投稿を  
お待ちしております。(220字以内)



有田 宣彦さん  
(山城町平尾)

## 暮らしやすい地域に 感謝

引越して来て10日目の朝、急に激痛。でも病院が分かりません。以前「遠慮せず救急車を呼べばいいよ」と。症状が落ち着き、地域医療連携で設備の整った

病院を紹介していただき専門治療を受けることができました。私には障がいを持った子がいます。不安のあまりお隣のチャイムを鳴らし助けを求めたそうで「心配ないよ」と優しく諭していただき、徐々に落ち着きを取り戻すことができました。治療を終え、帰宅すると「大事なくて良かったね」と温かい言葉。医療と福祉、地域の絆に感謝しています。

## 編集後記

昨年、議会は議員定数削減を可決し、次回の選挙からは22人体制のスタートとなります。

さて、日本は5年先の東京オリンピック、パリリンピックの二度目の開催に向け、大きく動き出しています。我が市からも五輪を目指す若い力が育ち成長することを期待するものです。

この議会日より届く

### 広報編集委員会

委員長	酒井 弘一
副委員長	呉 羽真
委員	山本 和延
炭本 範子	
柴田 はすみ	
西山 幸子	
七条 孝之	
岡 孝之	
長 一夫	

頃には、小さな春に梅の蕾がほころび始めるでしょう。

七条 孝之



上野 啓一郎さん  
(加茂町里)

## 犬との暮らし

犬を大切な家族の一員として飼う方が増えています。大切な家族だからこそ飼い主さんは、愛犬に親として教えること、一緒に暮らしていくために守らなくて

はならないことがあります。トイレの始末、ノリーロードでの散歩、抜け毛の散乱、無駄吠えなど、マナーを守り誰からも愛される愛犬に育てることは、万一の災害時に一緒に避難するためにも必要なことだと思います。自然豊かで住みやすい木津川市、犬を飼っている人も飼っていない人も気持ち良く暮らせる街にしていきたいものです。



井垣 由実さん  
(兜台)

## まるぼうずな街路樹

雑草に悩まされる季節が一息ついた途端、落ち葉に埋もれる我が庭のため息の出る今日この頃。自然と共存するのは、なかなか大変なものです。

そんな私ですら、人間の都合で早々に刈り込まれてしまう街路樹を見ると胸が痛みます。街路樹を育むには、地域の人々の意識と理解が欠かせません。それだけに緑豊かな街並みの景観は、その街の立派な財産になるのだと思います。さておき私も芽吹き季節から我が家を癒してくれ、た緑の恵みに感謝して庭の落ち葉と格闘です。

## お知らせ

3月定例会は2月20日(金)からはじまります。  
詳しい日程は、13ページをご覧ください。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

### 議会事務局直通

TEL 0774-75-1240  
FAX 0774-72-8952  
E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp